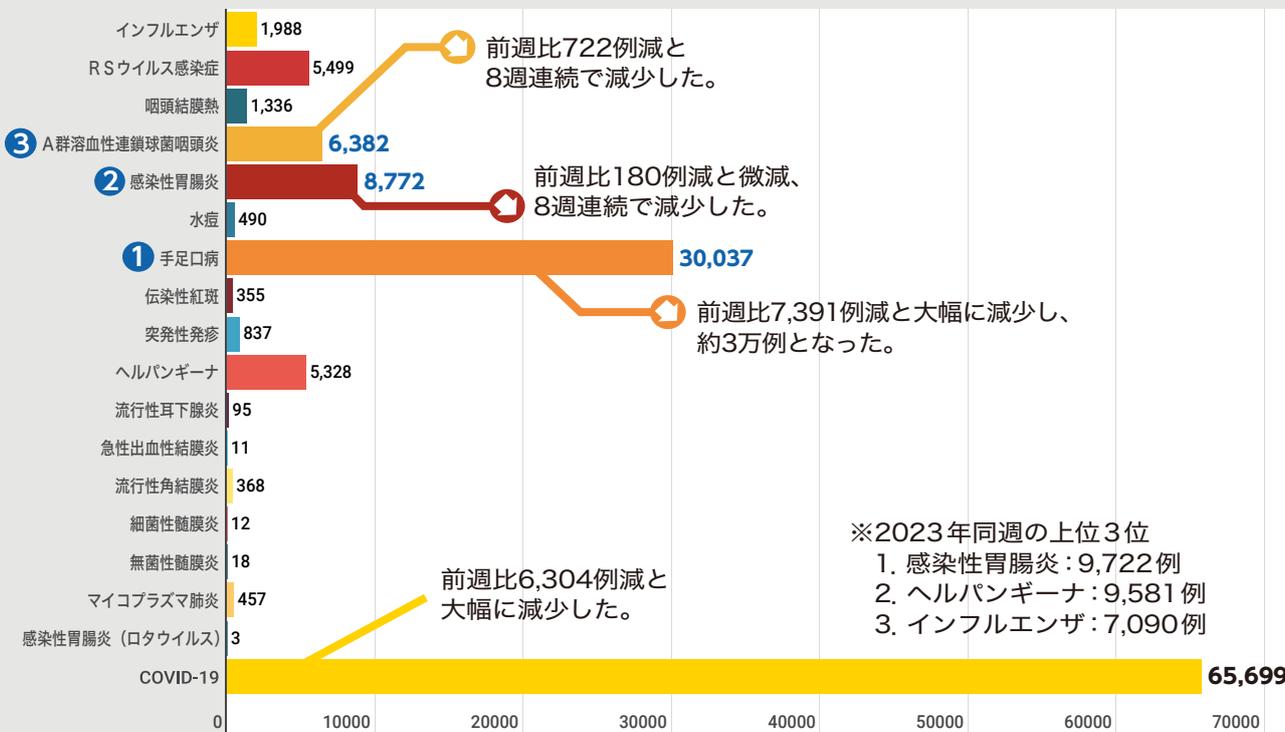


国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

# 手足口病・コロナ減少も、インフル流行の兆し

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



※2023年同週の上位3位

1. 感染性胃腸炎：9,722例
2. ヘルパンギーナ：9,581例
3. インフルエンザ：7,090例

(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

## ① 手足口病

### 報告数

1. 東京都：2,790例
2. 愛知県：2,025例
3. 神奈川県：1,971例

### 定点当たりの報告数(9.57)

- |              |              |              |               |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 長野県：20.91 | 4. 三重県：17.27 | 7. 新潟県：15.47 | 10. 山口県：14.40 |
| 2. 青森県：20.68 | 5. 宮城県：16.89 | 8. 広島県：15.19 | 11. 山形県：11.79 |
| 3. 滋賀県：17.33 | 6. 静岡県：15.83 | 9. 岩手県：14.63 | 12. 福島県：11.39 |

※その他28都道府県で警報基準値(5.00)超え

## ② 感染性胃腸炎

### 報告数

1. 東京都：737例
2. 埼玉県：618例
3. 大阪府：588例

### 定点当たりの報告数(2.79)

- |             |             |              |              |
|-------------|-------------|--------------|--------------|
| 1. 大分県：8.17 | 4. 石川県：4.52 | 7. 千葉県：3.89  | 10. 福岡県：3.68 |
| 2. 愛媛県：5.24 | 5. 熊本県：4.08 | 8. 埼玉県：3.77  | 11. 宮城県：3.44 |
| 3. 福井県：4.96 | 6. 群馬県：3.96 | 9. 鹿児島県：3.69 | 12. 岩手県：3.33 |

## ③ A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

### 報告数

1. 福岡県：559例
2. 北海道：428例
3. 東京都：413例

### 定点当たりの報告数(2.03)

- |             |             |             |              |
|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 1. 鳥取県：5.32 | 4. 宮城県：3.69 | 7. 大分県：3.06 | 9. 長崎県：2.80  |
| 2. 福岡県：4.66 | 5. 千葉県：3.19 | 8. 山形県：2.82 | 11. 山口県：2.60 |
| 3. 茨城県：4.24 | 6. 北海道：3.12 | 9. 三重県：2.80 | 12. 高知県：2.48 |

## 今週の感染症動向

手足口病は前週から7,391例と大幅に減少して3万例近くまで減ったものの、定点当たりの報告数は依然40都道府県で警報レベル(5.00)にある。

感染性胃腸炎とA群溶血性連鎖球菌咽頭炎は、いずれも8週連続で減少した。

COVID-19も前週比6,304例減と大幅に減少したが、41府県で報告数が2桁台に上っている。

多くの感染症が軒並み減少する中、沖縄県ではインフルエンザの定点当たりの報告数が11.55(前週9.83)と注意報基準値(10.00)に上昇。夏季休暇・観光シーズンに突入しており、昨年同様の全国的な流行が懸念される。